

作物生産学特論演習 I (2単位)

担当者氏名 森田茂紀・平野繁

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

世界および日本における農業・環境・資源エネルギー問題に関する研究の現状と今後の展望、その基礎となる作物の形態学・生理学・生態学の体系について理解する。また、その過程で、研究の進め方についても学び、自分の研究の展開に役立てる。本演習は原則としてゼミ形式で行い、プレゼンテーションのスキル、議論の進め方、論文やレポートの作成方法についても身につける。同演習Ⅱに続く前半部分。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業生態系と作物栽培 作物の形態・生理・生態 生育診断と生育調節 土壌環境と根の生態学
バイオマスの利用方法 研究計画・実施・解析法 論文・レポート作成法 プレゼンテーション法

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	授業の進め方 (第1週)	・授業の進め方を説明し、テキストを選定するとともに、分担を決める。	・担当部分の紹介・解説の準備を始める。
2	文献講読 (第2～14週)	・参加者が順次、担当部分の紹介・解説を行い、それに基づいて議論する。	・毎回の該当部分を読んでおくことと、担当部分の紹介・解説の準備を行う。
3	授業の整理 (第15週)	・授業の取りまとめを行い、レポート作成を含め評価方法について伝える。	・最終レポートの作成

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

第1回の授業で相談のうえ、テキストを選定する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

作物学・栽培学の教科書、用語集・事典・図鑑などの参考図書、研究方法に係る解説書 (適宜、紹介する)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

担当部分の発表・資料・議論などを総合的に評価する。

◆オフィスアワー

原則として火曜日と木曜日の昼休みに研究室で対応する。その他、適宜、電子メールで連絡を取ること。

◆その他受講上の注意事項

毎回、十分に予習・復習を行ったうえで、授業中の議論の積極的に参加すること。